

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-156567

(43)Date of publication of application : 03.06.1994

(51)Int.Cl.

B65D 85/57

B65D 85/00

(21)Application number : 04-320044

(71)Applicant : SONY CORP

(22)Date of filing : 30.11.1992

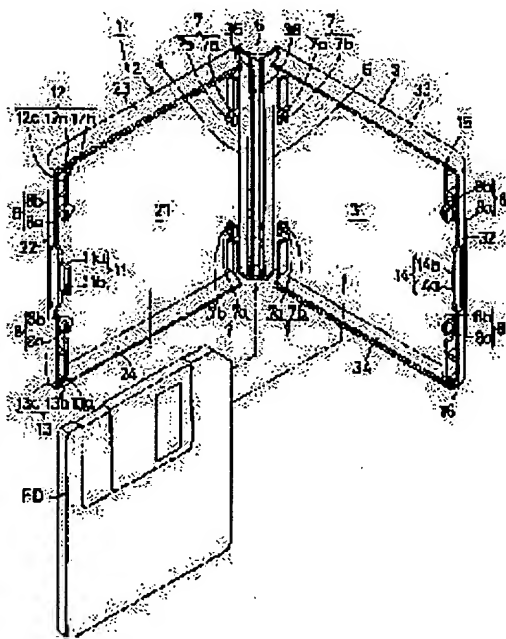
(72)Inventor : IWAKI YUJI
KIKUCHI SHUICHI

(54) STORING CASE

(57)Abstract:

PURPOSE: To contrive the exertion of an assured retaining force on a floppy disk in a case adapted to hold the floppy disk between pairs of ribs provided on the inner surface of its case body and lid.

CONSTITUTION: A case 1 for containing a floppy disk FD is composed of a case body 2, a lid 3 and a backbone plate 6 interposed between the case body 2 and the lid 3 which are both joined thereto by hinges 4 and 5, respectively. The case body 2 and the lid 3 are provided on their inner surfaces with first and second pairs of ribs 7 and 8 for holding the floppy disk therebetween. Either of the ribs 7 and 8 is provided on the upper part thereof with raised parts 8b for pressing the upper surface of the floppy disk held between the ribs 7 and 8.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 02.11.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 09.01.2001

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection] 2001-01352

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection] 31.01.2001

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-156567

(43)公開日 平成6年(1994)6月3日

(51)Int.Cl.⁵

B 6 5 D 85/57
85/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

C 7445-3E
H 8921-3E

審査請求 未請求 請求項の数1(全 6 頁)

(21)出願番号

特願平4-320044

(22)出願日

平成4年(1992)11月30日

(71)出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72)発明者 岩城 裕次

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ
ー株式会社内

(72)発明者 菊地 修一

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ
ー株式会社内

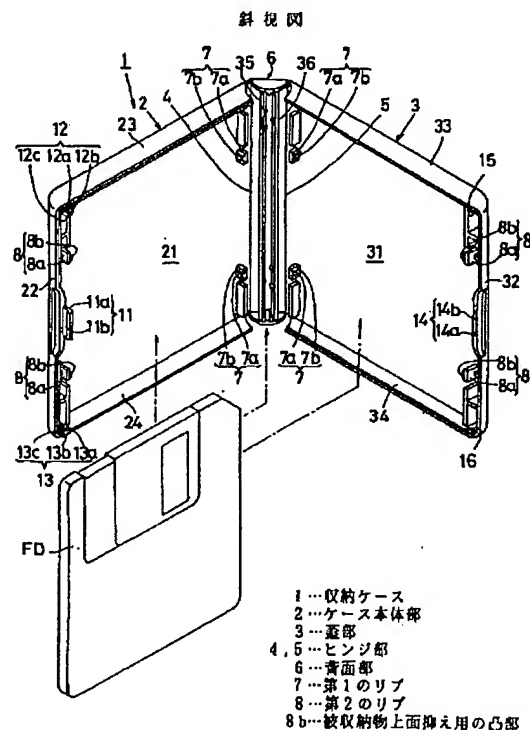
(74)代理人 弁理士 志賀 富士弥 (外1名)

(54)【発明の名称】 収納ケース

(57)【要約】

【目的】 ケース本体部や蓋の内面に設けた対状のリブの間にフロッピーディスクを挟んで収納するようになっている収納ケースにおいて、フロッピーディスクを確実にリブの間に収納保持できるようにする。

【構成】 フロッピーディスクFDを収納する収納ケース1を、ケース本体部2と、蓋部3と、これらケース本体部2と蓋部3の間にヒンジ部4、5を介して介在された背面部6とで構成する。ケース本体部2と蓋部3の内面にはフロッピーディスクを挟着するための第1、第2の対状のリブ7、8を設ける。これらリブ7、8のうちのいずれか一方の上部に、これらリブ7、8の間に挟着したフロッピーディスクの上面を抑える被収納物上面抑え用の凸部8bを設ける。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ケース本体部と、該ケース本体部を開閉する蓋部と、上記ケース本体部と蓋部との間に介在されていて、ケース本体部に対して蓋部を開閉可能にヒンジ部で結合している背面部と、上記ケース本体部又は蓋部の少なくともいずれか一方の内面に突設されていて、被収納物の一側面と他側面とに、それぞれ弾接して、該被収納物を挟着、保持する被収納物挟着用のリブを有する収納ケースにおいて、

上記対状のリブのいずれか一方のリブの被収納物側の側面には、該被収納物の上面を抑える被収納物上面抑え用の凸部を設けたことを特徴とする収納ケース。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、フロッピーディスク等の薄板状の被収納物を収納して、持ち運ぶのに便利な収納ケースに関し、特に、ケース本体部又は蓋部の内面に確実に被収納物を係合、保持できるようにしたものである。

【0002】

【従来の技術】複数枚のフロッピーディスクを収納して持ち運ぶ場合などに使用する収納ケースとして、図9に示すようなものが開発されている。

【0003】この収納ケース101は、下蓋としてのケース本体部102と、該ケース本体部102の一側部に薄肉のヒンジ部103を介して連設された背面部104と、該背面部104の他側部に薄肉のヒンジ部105を介して連設された上蓋としての蓋部106とを備えている。

【0004】上記ケース本体部102と蓋部106の内面には、被収納物としてのフロッピーディスクFDを挟着するための対状のリブ107、108が設けられている。

【0005】また、上記ケース本体部102には閉止部材109が設けられていてと共に、蓋部106には閉止部材係合部110が設けられている。

【0006】そして、上記ケース本体部102と蓋部106に設けた対状のリブ107、108の間にフロッピーディスクFDを挿入すると、該フロッピーディスクFDの一側面と他側面が上記リブ107、108で挟着、保持される。

【0007】しかるのち、上記ケース本体部102と蓋部106を重ね合わせた状態にすると、上記閉止部材109と閉止部材係合部110が係合して、所謂蓋をした状態に維持されるようになっている。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】ところで上記従来の収納ケース101にあっては、ケース本体部102又は蓋部106の内面に突設した対状のリブ107、108の間にフロッピーディスクFDを、ただ単に挟んで保持す

るようになっていたために、次に述べるような問題点があった。

【0009】(1) ケース本体部102に対して蓋部106を開閉する際に、リブ107、108の間からフロッピーディスクFDが脱落して、フロッピーディスクFDを落してしまうことがある。

【0010】(2) 持ち運ぶ際などに振動でフロッピーディスクFDがリブ107、108の間から外れて、カタコトと異音を発生したりする。

10 【0011】この発明は上記従来の問題点を解決し、ケース本体部と蓋部の内面に確実にフロッピーディスクを挟着、保持することのできる収納ケースを提供することを目的として為されたものである。

【0012】

【課題を解決するための手段】この発明は、ケース本体部と、蓋部の少なくともいずれか一方の内面に突設されていて、被収納物の一側面と他側面とに、それぞれ弾接して、該被収納物を挟着、保持する被収納物挟着用のリブを有する収納ケースにおいて、上記対状のリブのいずれか一方のリブの被収納物側の側面の上端部には、該被収納物の上面を抑える被収納物上面抑え用の凸部を設けた。

【0013】

【作用】対状のリブの間にフロッピーディスク等の薄板状の被収納物を挟着すると、該被収納物の上面は、自づと上記リブの上端部に設けた被収納物上面抑え用の凸部で抑えられる。

【0014】

【実施例】次に、この発明を図1～図8を参照して説明する。

【0015】図1において、1は収納ケースである。

【0016】上記収納ケース1は、下蓋としてのケース本体部2と、該ケース本体部2を開閉する上蓋としての蓋部3と、上記ケース本体部2と蓋部3との間に介在されていて、上記ケース本体部2に対して蓋部3を開閉可能にヒンジ部4、5で結合している背面部6と、上記ケース本体部2および蓋部3の内面に突設されていて、被収納物としてのフロッピーディスクFDの一側面と他側面とに、それぞれ弾接して、該フロッピーディスクFDを挟着、保持する被収納物挟着用の対状の第1、第2のリブ7、8を有している。

【0017】上記ケース本体部2と蓋部3には第1～第3の閉止部材11～13と閉止部材係合部14～16が設けられていて、ケース本体部2に蓋部3を重ね合わせた状態にすると、上記第1～第3の閉止部材11～13と閉止部材係合部14～16が係合して、ケース本体部2と蓋部3は閉じられた状態に維持される。

【0018】上記ケース本体部2は、被収納物としてのフロッピーディスクの大きさに見合う大きさの四角形状に形成された底面板21と、該底面板21の内面の開閉

端側に立設された開閉端側の側壁22と、該開閉端側の側壁22を挟むようにして上記底面板21の内面の左右両側に立設された左右の側壁23、24とからなっていて、これら側壁22～24内に被収納物としてのフロッピーディスクFDを収納できるようになっている。

【0019】そして、上記側壁22～24内にフロッピーディスクFDを収納すると、該フロッピーディスクFDの一側面と他側面は、上記底面板21上に立設された上記対状の第1、第2のリブ7、8で挟着されて、底面板21上に保持されるようになっている。

【0020】蓋部3は、上記ケース本体部2と同様に、被収納物としてのフロッピーディスクFDの大きさに見合う大きさの四角形状に形成された底面板31と、該底面板31の内面の開閉端側に立設された開閉端側の側壁32と、該開閉端側の側壁32を挟むようにして、上記底面板31の内面の左右両側に立設された左右の側壁33、34とからなっていて、これら側壁32～34内に被収納物としてのフロッピーディスクFDを収納できるようになっている。

【0021】そして、上記側壁32～34内にフロッピーディスクFDを収納すると、該フロッピーディスクFDの一側面と他側面は、上記底面板31上に立設された上記対状の第1、第2のリブ7、8で挟着されて、底面板31上に保持されるようになっている。

【0022】また、背面部6は薄肉のヒンジ部4、5を介して、上記ケース本体部2と蓋部3の間に介在されている。

【0023】上記背面部6の内面には、フロッピーディスクFDを挟着、支持する一対のフロッピーディスク挟着用の突状35、36が設けられている。

【0024】そして、上記ケース本体部2と蓋部3および背面部6に、それぞれフロッピーディスクFDを収納して、ケース本体部2と蓋部3を閉じると、こけらケース本体部2の側壁22～23と、蓋部3の側壁32～34の先端面が重なり合って、ケース本体部2と蓋部3は密閉された状態になると共に、上記第1～第3の閉止部材11～13が第1～第3の閉止部材係合部14～16に係合して、ケース本体部2と蓋部3は閉じられた状態に維持されるようになっている。

【0025】上記第1の閉止部材11は、ケース本体部2の開閉端側の側壁22の内面の中央部に所定の幅の舌片11aを突設すると共に、該舌片11aの先端に係合突起11bを設けることにより形成されている。

【0026】また、上記第1の閉止部材係合部14は、蓋部3の開閉端側の側壁32の中央部に上記舌片11aよりもやや広目の幅の切欠部14を設けると共に、該切欠部14aの内面に被係合突起14bを設けることにより形成されている。

【0027】そして、上記ケース本体部2と蓋部3を重ね合わせた状態にすると、上記舌片11aが切欠部14

aに嵌まり込んで、係合突起11bと被係合突起14bが互いに係合して、ケース本体部2と蓋部3の中央部をロックした状態に維持するようになっている。

【0028】また、第2、第3の閉止部材12、13は、ケース本体部2の開閉端側の側壁22の両側部、つまり左右の側壁23、24とのコーナー部の内面に、それぞれ舌片12a、13aを突設し、これら舌片12a、13aの側壁23、24側の側面の先端に係合突起12b、13bを設けることにより形成されている。

10 【0029】上記舌片12a、13aの一端部には、上記開閉端側の側壁22に沿わせた状態で上記ヒンジ部4、5に対して略平行な補強用のリブ12c、13cが設けられている。

【0030】また、第2、第3の閉止部材係合部15、16は、蓋部3の左右の側壁33、34の開閉端側の側壁32側の端部に、被係合突起を設けることにより形成されている。

【0031】そして、上記ケース本体部2と蓋部3を重ね合わせた状態にすると、上記係合突起12b、13bと、被係合突起としての閉止部材係合部14、15が、それぞれ係合して、ケース本体部2と蓋部3の左右の両側部をロックする。

【0032】そして、上記補強用のリブ12c、13cで舌片12a、13aのヒンジ部4、5の長さ方向への倒れを防止し、第2、第3の閉止部材12、13と閉止部材係合部15、16の係合状態を維持するようになっている。

30 【0033】上記対状の第1、第2のリブ7、8は、側壁23、24側に、それぞれ一対づつ合計2対、形成されている。

【0034】第1のリブ7は、ヒンジ部4の近傍に、該ヒンジ部4と略平行に設けられた起立壁7aと、該起立壁7aと、該起立壁7aの一側面（リブ8と対向する面）の中央部に設けられた被収納物挟着用の凸部7bとからなっている。

【0035】また、第2のリブ8は、開閉端側の側壁22の近傍に、該側壁22と略平行に設けられた起立壁8aと、該起立壁8aの一側面（リブ7と対向する面）の第1のリブ7側に突出させた状態に設けられていて、被収納物としてのフロッピーディスクFDの上面を抑える被収納物上面抑え用の凸部8bとからなっている。

【0036】そして、上記第1のリブ7、7と、第2のリブ8、8の間に被収納物としてのフロッピーディスクFDを挿入すると、該フロッピーディスクFDは、その一側面と他側面を、これら第1のリブ7、7と、第2のリブ8、8で挟まれると共に、第2のリブ8、8の起立壁8a、8aの上部に設けた被収納物上面抑え用の凸部8bで、その上面を抑えられるようになっている。

50 【0037】なお、上記収納ケース1はポリエチレンやポリスチレン等のプラスチックで一体に形成されてい

る。

【0038】実施例の収納ケース1は以上のような構成であるから、ケース本体部2と蓋部3の対状の第1、第2のリブ7、8間に、それぞれ被収納物としてのフロッピーディスクFDを圧挿入すれば、フロッピーディスクFDの一側面と他側面は上記第1、第2のリブ7、8で挟着されると共に、上記第2のリブ8の起立壁8aの上部に設けた被収納物上面抑え用の凸部8bにより上面を抑えられて、フロッピーディスクFDはケース本体部2と蓋部3の内面側にしっかりと収納された状態になる。

【0039】また、背面部6の内面に設けた一対のフロッピーディスク挟着用の突条38、39の間にもフロッピーディスクFDを挟着する。

【0040】上述のようにして、ケース本体部2と蓋部3および背面部6に、それぞれフロッピーディスクFDを収納したのち、ケース本体部2に対して蓋部3を閉じた状態にすると、これらケース本体部2と蓋部3に設けた第1～第3の閉止部材11～13と閉止部材係合部14～16が互いに係合して、収納ケース1は密閉した状態に維持される。

【0041】また、第1～第3の閉止部材11～13と閉止部材係合部14～16の係合を外すと、所謂蓋が開かれた状態になるが、上述したようにケース本体部2および蓋部3に収納されているフロッピーディスクFDは、その上面を被収納物上面抑え用の凸部8bで抑えられているので、ケース本体部2や蓋部3から脱落することはない。

【0042】そして、図7に示したように上記ケース本体部2や蓋部3を反らせた状態にすると、フロッピーディスクFDはヒンジ部4側に設けたリブ7から抜け出て容易にケース本体部2や蓋部3から取出すことができるようになるのである。

【0043】なお、図面に示す実施例ではヒンジ部4側のリブ8に被収納物上面抑え用の凸部8bを設けた場合*

*を示したが、他方のリブ7側に被収納物上面抑え用の凸部を設けてもよい。

【0044】また、被収納物上面抑え用の凸部8bは図8に示したように傾斜状に形成してもよい。

【0045】

【発明の効果】この発明の収納ケースには次に述べるような効果がある。

【0046】(1)被収納物の上面を被収納物上面抑え用の凸部で抑えるので、ケース本体部に対して蓋部を開閉する際でも、これらケース本体部や蓋部から被収納物が脱落するのを防止することができる。

【0047】(2)被収納物の上面を被収納物上面抑え用の凸部で抑えるので、持ち運び等の際にも、被収納物がリブの間から外れてカタコトと音を発生したりするのを防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】斜視図。

【図2】展開図。

【図3】第1のリブの平面図。

20 【図4】第1のリブの側面図。

【図5】第2のリブの平面図。

【図6】第2のリブの側面図。

【図7】フロッピーディスクの取出し状態の斜視図。

【図8】他の実施例の側面図。

【図9】従来例の斜視図。

【符号の説明】

1…収納ケース

2…ケース本体部

3…蓋部

30 4、5…ヒンジ部

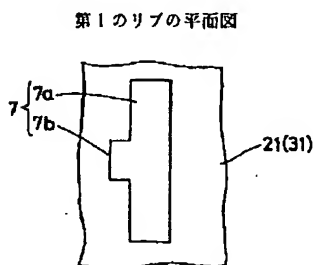
6…背面部

7…被収納物挟着用の第1のリブ

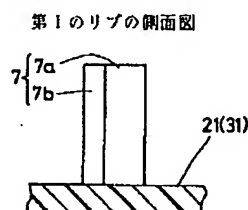
8…被収納物挟着用の第2のリブ

8b…被収納物上面抑え用の凸部

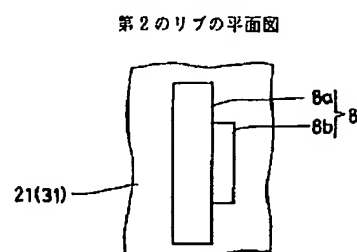
【図3】



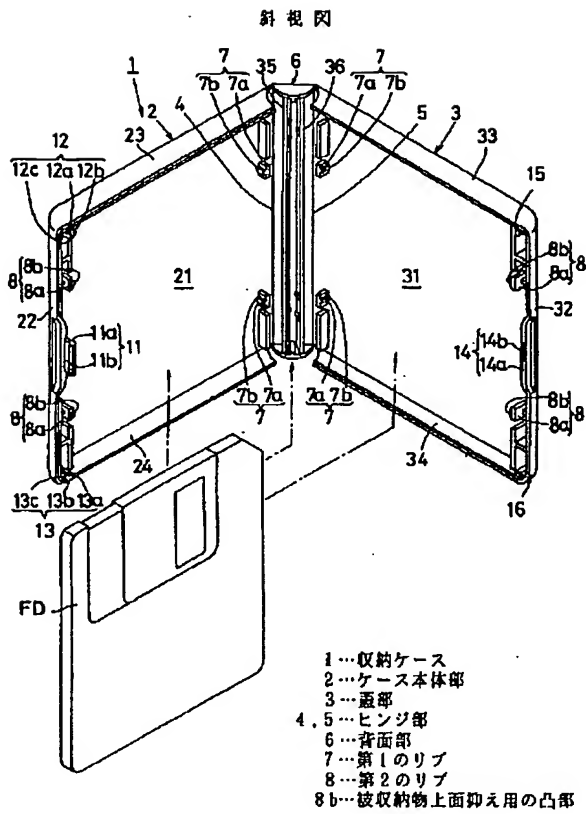
【図4】



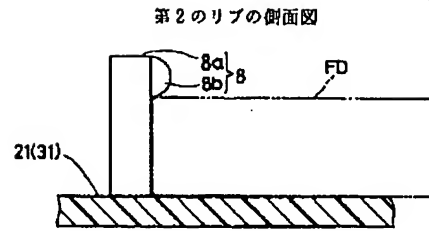
【図5】



【図1】

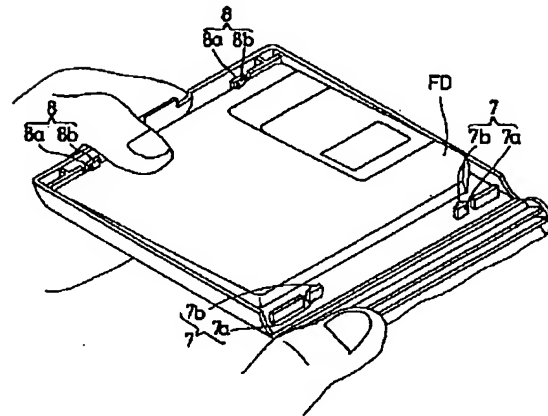


【図6】

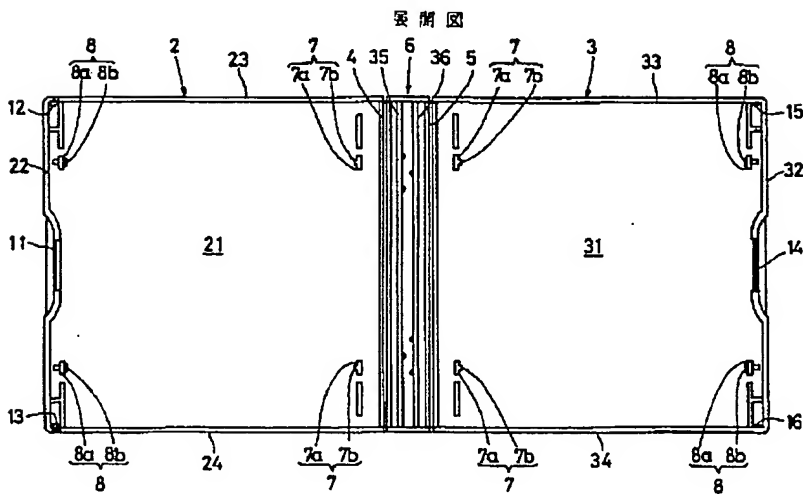


【図7】

フロッピーディスクの取出し状態の斜視図

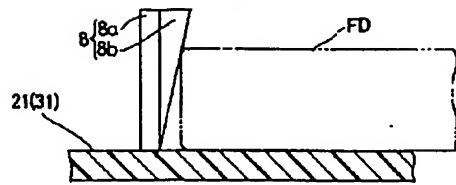


【図2】



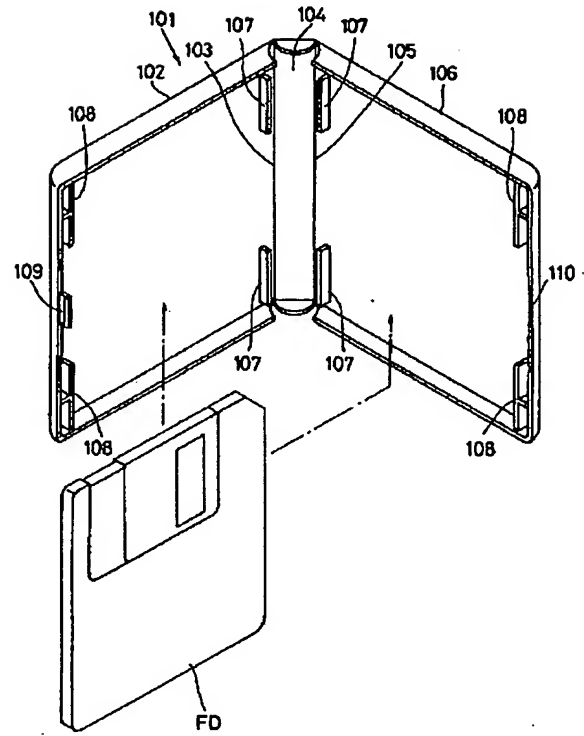
【図8】

第2のリブの他の実施例の側面図



【図9】

従来例の斜視図



【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第6区分
【発行日】平成13年4月24日(2001.4.24)

【公開番号】特開平6-156567
【公開日】平成6年6月3日(1994.6.3)
【年通号数】公開特許公報6-1566
【出願番号】特願平4-320044
【国際特許分類第7版】

B65D 85/57
85/00

【F I】

B65D 85/57 C
85/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成11年11月2日(1999.11.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正内容】

【0039】また、背面部6の内面に設けた一対のフロッピーディスク挟着用の突条35、36の間にもフロッピーディスクFDを挟着する。